

広報・教育部門

Gゼミ《新潟法律大学校下水道広報部》 行政と連携したPR実践

新潟法律大学校・新潟市

受賞事例の概要

行政の仕事を知りたい！新潟市の下水道PRを学生の感覚で立案・実践

- ①目的：【学校】本校は公務員を目指す学生が多く、下水道PRを通じ実践的な教育の場としたい
【新潟市】学生に下水道の事を知っていただくと共に、実行力を生かした下水道PRに期待
- ②進め方：新潟市が学生へ下水道広報について授業実施⇒学生が下水道を勉強、知識習得、処理場調査⇒学生が下水道PRを企画立案実践《新潟市は、アドバイス、フィールド提供など支援》
- ③実践：
 - ・小学生親子を対象とした下水道自由研究教室実施18家族48名参加（写真1）
 - ・高校出前授業実施（新潟県立村上桜ヶ丘高校1年）高校生150名参加（写真2）
 - ・チャレンジオープンガバナンス2022（東大公共政策大学院主催）に応募、受賞（写真3）



写真1



写真2



写真3



- 2022年 1月：新潟市下水道部より講義『市役所の広報活動・下水道広報』《参加人数100名》
- 2022年 2月：ゼミ始動、Gゼミ講座『広報企画作成のための公共マーケティング』《参加人数50名》
- 2022年 3月：第1回企画プレゼン・夏休み自由研究教室企画を6班としてプレゼンテーション
- 2022年 5月：新潟市下水道部小学校下水道出前授業見学・第2回企画プレゼン
- 2022年 6月：新潟市中部下水処理場調査《2つの班12名が参加》
- 2022年 8月：夏休み自由研究教室開催《18家族46名参加》
- 2022年11月：新潟県立村上桜ヶ丘高校で下水道をモチーフのSDGs探求授業《1年生150名参加》
- 2023年 3月：東京大学公共政策大学院など各研究室共催COG2022『連携体制賞』『JIPDEC賞』
- 2023年 8月：新潟市立高志中等教育学校で探求授業開催・自由研究教室開催

PRポイント！

- ①市が学生に情報と課題を提供する
「自治体広報」「下水道広報の必要性和現状」
- ②学校が学生にソーシャルマーケティング講義
- ③学生が自ら下水道広報手法を考え実践する
何も無いところから**学生が自らの考えで下水道広報を考え実践**する。あくまでも、学生主体で市・学校は必要に応じて支援を実施。

取組の効果！

- ①学生の声：自らの企画を実践したことにより**サステナブルな社会への関心が深まった。**
- ②COG 審査員の声：企画部門ではなくインフラ部門からの協働取り組みは貴重とコメントを頂く。
- ③高校教師の声：面白い取り組みと高い評価。
- ④市の声：**学生たちの下水道のイメージが変わり嬉しかった。**さらに、発想がゆたかで感心した。

Key Person



Gゼミ 4年生

最初、私達がつくった授業はあまりにも質が低く、リハーサルではゼミの先生に「最低だ!!」と言われてしまいました(笑)。「伝えたい気持ち」「下水道への十分な理解」がなければ、伝わらないと考え特訓しました。結果、大好評でテンション爆上がり！また、私達も教えることを通して下水道への理解や関心が高まり「知識のインプットだけでは足りない。アウトプットこそが大切なんだ」と実感しました。これが「教わったことを人に教える」高校総合探究授業企画をつくったきっかけです。